

# 社会福祉法人さつき会 事業所一覧



## 玄海はまゆう学園

福岡県宗像市江口6-8

---

施設入所支援	30名
生活介護	50名



## はまゆうワークセンター宗像

福岡県宗像市自由ヶ丘南3丁目32番地

---

就労継続支援B型	60名
----------	-----



## さつき学院 宗像キャンパス

福岡県宗像市自由ヶ丘南3-30-4

---

自立訓練（生活訓練）	20名
------------	-----



## はまゆうワークセンター自由ヶ丘

福岡県宗像市自由ヶ丘3-16-1

---

就労移行支援	10名
就労継続支援B型	10名



## はまゆうワークセンター大野城

福岡県大野城市大城5-28-3

---

就労継続支援B型	50名
就労継続支援A型	10名



## 相談支援センターはまゆう

福岡県大野城市大城5-28-3

---

特定相談支援／障害児相談支援  
地域移行支援／地域定着支援



## パルテールはまゆう

福岡県大野城市大城5-28-9

---

共同生活援助	7名
短期入所	3名



### 障がい児者地域生活支援センターはまゆう

福岡県宗像市自由ヶ丘南3丁目32番地

特定相談支援／障害児相談支援

地域移行支援／地域定着支援



### 障害者就業・生活支援センターはまゆう

福岡県宗像市田熊5-5-2

障がいのある方の就業面の支援及び就業に伴う生活面の支援



### 宗像市障害児通所支援事業所 げんきっこくらぶ ほっぷ

福岡県宗像市久原370番地1

放課後等デイサービス(重症心身障害児以外) 10名

放課後等デイサービス(重症心身障害児) 10名

児童発達支援(重症心身障害児) 5名



### げんきっこくらぶ じゃんぷ

福岡県宗像市自由ヶ丘3-16-1

放課後等デイサービス(重症心身障害児以外) 10名

## ライフアップはまゆう



### シーサイドヒルはまゆう

福岡県宗像市田野字正吹309-1

共同生活援助 7名

短期入所(空床型) 1名



### フローラ

福岡県宗像市陵巖寺4-9-20

共同生活援助 7名

(うち、サテライト型住居 1名)



### サニーヒルはまゆう

福岡県宗像市田野字正吹310

共同生活援助 6名

短期入所(空床型) 1名

# 玄海はまゆう学園 令和1年度事業報告書

## 1 玄海はまゆう学園

事業所の目的に、「利用者の安心・安全・楽しみ」を提供することを掲げ、常に利用者を中心とした支援に努めてきた。支援においては、「できないではなくできる方法を考える」という法人理念に基づき、創意工夫を図りながら利用者への支援を行った。また、誰もが同じ視点をもって業務ができるよう報告・連絡・相談の徹底とケースカンファレンスの充実を図った。

## 2 福祉サービス提供

### (1) 施設入所

入所：31名（定員30名）

入浴、排泄、食事、健康管理等の生活支援を行う。自分でできることは自分で取り組むように促し、利用者ができる方法を考えた支援を行う。今後の高齢化や入院時の対応など保護者や各機関と連携体制を構築していく必要がある。

○平均年齢：39.2歳 / 平均障害区分：4.7

### (2) 生活介護（日中活動）

定員 40名 利用者数：入所者31名 通所者15名 計46名

#### ① 日中活動

各作業活動：2班3グループに分かれ、日中活動支援を行う。利用者がやりがいや楽しみを持って活動に参加できるよう、仕事だけではなくレクリエーションやウォーキングも実施する。仕事と余暇のメリハリをつけることで、生活リズムの安定や利用者の生きがいややりがいに繋げている。

#### 【どろんこ班】利用者24名

農作業、缶つぶし作業を行う。農作業では、さつま芋の「ジョイホワイト」と「黄金千貫」を植え付けし草取りなどを行い、収穫したさつまいも「ジョイホワイト」（183kg）と「黄金千貫」（289kg）を小林酒造に納品し、焼酎「自立」「黒浜姫」を製造してもらう。

宗像地域のホテル等から空き缶を回収し、分別・潰し作業を行いリサイクル工場に出荷し、アルミ160,836円（182kg）、スチール1,945円（800g）合計162,781円の収益を得る。

#### 【なごみ班】利用者 計22名

##### ○軽作業グループ 利用者13名

ビーズでアクセサリ作りを行う。ネックレスなど出来た商品を『道の駅むなかた』と『ハートループ（宗像市役所内売店）』に納品して、23,550円の売り上げがあった。

##### ○療育グループ 利用者9名

主に療育活動に取り組む。健康・衛生の維持を重点とし、ウォーキングや日常生活訓練、機能維持訓練を行うことで、情緒安定に繋げている。

今年度からミュージックケアを取り入れ、利用者の持っている力を最大限発揮させ、発達の援助を行った。※ミュージックケアとは、音楽の特性の一部を利用しその人がその人らしく生きるための援助をすること

#### ② 年間行事：季節に合わせた行事を実施。利用者一人ひとりの楽しみに繋げている。

4月5日（金）	お花見昼食会（園内）	9月25日（水）	屋台夕食会及び花火大会（園内）
5月5日（日）	ワックス掛け、ラグビー観戦（園外）	10月26日（土）	THANK YOU 文化祭（和ハウス）
5月12日（日）	第1回さつき祭り（メイトム宗像）	12月14日（土）	餅つき会（園庭）
6月22日（土）	運動レクリエーション（日赤大体育館）	1月10日（金）	新年会（八幡屋で食事後、大社参拝）
8月16日（金）	ボウリング・カラオケ大会（園外）	2月12日、26日	自由外出（各班でドライブ）
9月18日（水）	第1回定期健康健診	3月10日（火）	第2回定期健康診断

- ・「ふろの日」：毎月 26 日に浴室を四季折々に演出して入浴を楽しんだ。
  - ・「誕生会」：「ふろの日」に合わせて、厨房で作ったおやつを午後のおやつの時間に食べながら誕生者を祝った。
  - ・池野地区夏祭り：地域貢献活動の一環として、職員 2 人がバザーに参加する。
  - ・池野地区文化祭：利用者が日々の活動で作った作品を出品するとともに、利用者数名は作品を鑑賞するなどして文化祭に参加した。
- ③ ボランティア：地域の方々の協力を得ながら、利用者がより充実した生活を送れることを目的としている。
- シーツ交換手伝い（7 人）：毎週火曜日 9：30～10：30
  - 音楽療法（1 人）：毎月第 2・4 水曜日 15：00～16：00
  - 3B 体操（2 人）：毎月第 2 木曜日 15：00～16：00

### (3) 短期入所・日中一時サービス

#### ① 短期入所支援：宿泊を伴う日常生活支援

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均
利用延べ人数	29	43	47	53	51	46	54	80	77	59	52	64	54.6

#### ② 日中一時支援：日中の日常生活支援

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均
利用延べ人数	14	12	14	12	12	6	15	11	8	7	10	10	10.1

## 3 人材育成

### ① 会議の実施

毎月 1 回、職員会議と班会議、リーダー会議を開催し、職員間の情報共有や課題抽出・ケース検討を行う。

### ② 内部研修の実施

職員の資質向上、意識向上を目的に内部研修及びケースカンファレンスを実施する。

4 月 19 日(金)	業務の振返りとマニュアルの見直し
5 月 24 日(金)	福祉制度とサービスの種類
6 月 28 日(金)	成年後見制度
7 月 19 日(金)	感染症・食中毒予防
8 月 23 日(金)	応用行動分析学の実践
9 月 18 日(水)、9 月 24 日(火)	救急救命士による救急救命講習会
9 月 27 日(金)	ミュージックケア
10 月 18 日(金)	アンガーマネジメント入門
12 月 20 日(金)	リスクマネジメント
1 月 31 日(金)	強度行動障害

## 4 保護者会

本人・家族が安心できる学園にするため、保護者会と施設がしっかりと情報共有することに努めている。また、行事などを職員と保護者が一緒に行うことで信頼関係を深め、更なる理解と協力ができる体制づくりを行っている。

令和 1 年度は、「はまゆう喫茶」でかき氷の提供や元旦に帰省できなかった利用者にお菓子などのプレゼントが配られた。また前期に園庭の草取りを行い、年末には室内の廊下やトイレなど大掃除をしていただく。また、年度末にはキューブソファ<sup>4</sup>脚を寄贈していただく。

# はまゆうワークセンター宗像 令和元年度事業報告書

## 1. 実施サービス

令和1年度利用実績(3月末実績)	
就労継続支援 B 型	47名/50名
自立訓練	5名/10名
利用者数(総数)	52名/60名

《利用者増減の推移》

R1年12月 B型契約終了 1名

R2年3月 B型利用開始 1名 (特別支援学校より)

B型契約終了1名 (他事業所へ異動)

## 2. 就労支援収益

	令和1年度実績	平成30年度実績
酒事業	675,848	858,158
製品事業	4,360,889	4,533,672
委託事業	13,879,196	13,945,684
売店事業	11,759,740	12,799,470
合計	(↓) 30,675,673	32,136,984
平均工賃/月	(↓) 13,715	14,308

## 3. 事業別

### (1) 就労継続支援B型

#### ① 外作業 (公園除草・お庭番)

- ・前年に比べ若干の収入減であったが、限られた人員で期限内に作業を進めることができた。
- ・課題であった冬場の作業については、30年度に新規で開始したいちごポットの土入れ作業を継続。さらに新たな作業として、マサエイ水産(宗像市鐘崎)からあかもくパックのシール貼りや、作業場の清掃作業の依頼を受け取り組んだ。通常作業量が減少する時期も作業が途切れることなく充実させることができた。

#### ② 室内作業

- ・30年度下期より新たな作業を開始し、作業手順や配置の見直しを重ねてきた。月ごとの作業量もほぼ安定し、作業が途切れることもなく収益の大幅アップにつながった。
- ・作業テーブル、椅子を新しく購入し入れ替えを行った。また、作業室内のレイアウトも見直し、整理整頓の意識が高まった。
- ・利用者の特性や年齢等に応じハード面、ソフト面ともに見直しが必要となっている。担当者を含め事業所全体の課題として取り組みを開始した。

### ③ 食品加工（クッキング・厨房）

- ・10月の消費増税に伴い、バザー出店の際にもポスレジを導入した。
- ・2020年度より栄養成分表示が完全義務化されることに伴い、ラベル印刷機を新規導入した。
- ・1月15日～19日、福岡三越で開催された「第7回まごころ製品大規模販売会」に初出店を行った。今回ワークセンター大野城の肉まんも出品してもらい、法人内全事業所にも販売員として協力していただくことができた。5日間で112,748円を売り上げた。

### ④ クリーニング事業

- ・月平均31万円前後の売り上げを維持することができた。
- ・令和2年度より施設外就労に切り替えることが決定し、下半期からはそれを見据えて作業工程や配置変更を行った。また、3月は事業所内での作業も継続しつつ、実習という形で実際に(株)クレリアへ出向き作業を行った。(2年度4月より施設外就労を開始)

### ⑤ 施設外就労（リサイクル・農業）

- ・農業出向先が経営改革に取り組みられたこともあり、11月以降作業日数と時間が少なくなり、年間約70万円の減収となった。先方との話し合いを持ちながら、収穫量、収穫の質を向上できるよう、職員と利用者一丸となって取り組んでいく必要がある。

### ⑥ 売店事業

- ・消費増税に伴いポスレジを導入。また同時に店内のレイアウトを変更し、10月1日にリニューアルオープンを行った。
- ・ポスレジ導入により、商品在庫や売上げ状況を事業所内のパソコンからも閲覧できるようになった。宗像市福祉課、宗像まごころ市運営協議会の協力を得ながら売店経営をよりよい状態で継続するため今後も取り組んでいく。

## (2) 自立訓練

- ・30年度と同様、個別のニーズに応じて目標を設定し訓練や活動を実施した。全体では上期、下期に1度ずつ公共交通機関を利用しての外出を行った。また、グループホームの調理設備を借りて調理実習を行った。
- ・5名の利用者全員が令和2年度4月からは就労継続支援B型のサービスに移行している。

## 4. グループ活動

- ・グループ活動の導入後7年が経過する。現状として利用者の高齢化、興味や生活環境の変化によりニーズが多様化しており、それぞれに対応することが難しくなっていることが課題である。
- 就労グループ…企業見学・パソコン勉強会・身だしなみ講習・ハイキングなど（計7回）
- 余暇グループ…博物館見学・ピクニック・門司港関門ミュージアム・アクセサリー作り（計4回）
- 生活グループ…花植え（春・秋）・絵付け体験・調理実習・温泉（計5回）

## はまゆうワークセンター自由ヶ丘 令和元年度事業報告書

### 1、実施サービス

令和元年度利用実績(3月末実績)	
就労移行支援	9名/10名
就労継続支援 B 型	7名/10名
就労定着支援	1名/20名
利用者数(総数)	17名/40名

#### 《事業所状況増減の推移》

	令和元年度末実績	平成 30 年度末実績
利用登録者数	17名	17名
平均月利用者数	15.3名	12.6名
就職・内定者数	3名	4名
平均工賃/月	5,156円	7,639円

#### 《就職者内訳》

A氏・・・古賀市内の衣料品店に勤務→継続中

B氏・・・宗像市内の老人施設の清掃業務→継続中

C氏・・・福津市内の事務職→継続中

#### 《新規利用者・退所者内訳》

新規利用者 4名 移行 2名、B型 2名(内 1名退所)

### 2、事業について

#### ・体験・見学・実習の積極的受け入れ

体験・見学件数・・・20件

特別支援学校実習件数・・・8名

就労アセスメント件数・・・5名

#### ・放課後等デイサービス『げんきっこくらぶ じゃんぷ』との連携

お仕事の体験や自由ヶ丘の利用者との関わりを持つ経験を提供。

実施月	内容
7～8月	就業体験@ワークセンター自由ヶ丘内
8月	野球観戦 ソフトバンク対日本ハムファイターズ戦
12月	ボッチャ ※トヨタ合同

### 3、理念実現プラン

#### <利用者のために>

事業所内訓練・・・内職、オフィスワーク、座学、SST、グループワーク等  
事業所外訓練・・・スーパー、クリーニング工場、求人検索、個別の企業実習  
余暇活動・・・野球観戦(じゃんぷ合同)、糸島日帰り旅行、新年会など

#### ・障害特性に合わせた座学・SST等の提供

障害特性によって能力差がある為、特性に合わせた内容を実施。  
特性に合わせる事で、理解を深める事ができ訓練の内容の質も向上。  
個別対応も本人に必要ながあれば実施。

#### ・企業見学・企業実習

同法人の就業・生活支援センターや各関係機関と連携し、利用者が自分の意思で就業先や職種を選択出来る機会や経験を提供。

#### ○就職相談会

7月12月 就職相談会参加 (福岡県雇用拡大事業)

10月 就職相談会参加 (福岡労働局)

#### ○個別での企業実習

実習先：倉庫業、衣料品店、清掃業、事務関係

#### <職員のために>

・支援の質の向上の為、就労支援向けの研修に参加。

11月 ひきこもりの多面的理解に基づく具体的な支援

10月 精神障害者就労支援関係者研修会

#### <地域のために>

・トヨタ自動車九州株式会社の方との取り組み

実施月	内容
8月	そば打ち体験
9月	ハイキング ※新立山
12月	ボッチャ ※じゃんぷ合同
2月	模擬面接会

楽しみながら交流するという目的で実施し令和元年度末で2年が経過。ボランティアの方と利用者が顔見知りになり、会話も自然に行う様子が多くなった。  
また、模擬面接会では企業側から求める人材や面接官が見ているポイント等を学び現在の就職活動に活かしている。

#### <今後について>

現在2か所の施設外訓練先があるが、より実践的な訓練内容を増やしていきたいと考え、職種が異なる施設外訓練先の開拓を目指す。

令和2年度は就職予定者が多い。就職してから企業、各関係機関、保護者と連携しながら職場定着を目指す。

# はまゆうワークセンター大野城 令和元年度 事業報告書

## 1,実施サービス

令和元年度利用実績(3月末実績)	
就労継続支援 A 型	0 名/10 名
就労継続支援 B 型	47 名/50 名
利用者数(総数)	47 名/60 名

## 2,就労支援収益

	令和元年度実績	平成 30 年度実績
オリジナル(豚まん)	3,584,227(↓)	4,320,468
委託	7,137,649(↑)	4,510,800
軽作業	2,902,015(↑)	2,735,492
施設外作業	5,589,775(↑)	4,864,762
合計	19,213,666(↑)	16,431,522
平均工賃	11,258(↓)	11,381

\*平成 30 年度よりも全体の収入は増えているが、利用者平均工賃が下がっているのは経費が 30 年度よりも多くかかったため（減価償却費等）

## 3,事業別

### ①オリジナル（豚まん）事業（利用者数：12名）

- ・引き続き豚まん・鳥まん・ぼたんまん（猪）を製造した。消費税増税の動きもあり、原料の見直しを行った。
- ・夏でも豚まんセットは売れてはいたが、大口の取引先からは別商品を希望されたためマドレーヌと明太ラスクのセットを製造した。
- ・大きな販路先がないという課題は継続して残っているが、職員体制のあり方が今後も検討課題である。製造業務と利用者支援という 2つの側面を平行して行うために、どのような人材や体制を整えるのか検討していかなくてはならない。
- ・オーガニック食材にこだわったベジまんの詩作を重ねたが、原材料がかなりかかるため商品化に至らなかった。

### ②委託事業（利用者数：7名）

- ・昨年度に引き続き(株)九州ソルトの塩小分け作業と(有)ぎょうざの山八からチーズぎょうざ製造委託も継続して行っている。
- ・九州ソルトの小分け作業はアイテム数が増え、30 年度に比べて売り上げが約 2 倍以上になった。

### ③軽作業事業（利用者数：15名）

- ・年間通して(株)ヨシケイのシート拭きを行う。この作業は利用者だけで納品準備までできる点が利点であるが、毎日職員が往復 1 時間近くかけて納品しなければならないところが課題であった。そのため、作業委託を今年度までで終えることとなった。
- ・新たな作業として次年度以降箱折の作業を行うこととした。

### ④施設外就労事業（利用者数：14名）

- ・(株)日商アルミ、(株)新日本金属 2 社に出向いた。
- ・4 月から時給をあげていただいたことにより、30 年度に比べて売り上げが約 1.8 倍になった（利用者：400 円→500 円、職員：500 円→814 円）。
- ・課題として委託企業から仕事の要請があるものの、作業を行える利用者がないという点がある。施設外就労に従事する利用者が増えると企業様、弊所双方にとって利益があるため、施設外に従事す

る利用者が増えるように事業所内でも検討を行っていく。

#### 4,理念実現プラン

##### <利用者のために>

###### ◆当事者会（すまいる会）の取り組み

所員が「自分のことは自分で考え、実行できるように」という目的で「当事者会」の活発化を図る取り組みを継続している。今年度は役員選挙を行った。

###### ◆グループ活動

一人ひとりの選択や個性を尊重し、選択できる活動内容を提案した（創作・スポーツ・ミュージック）。年間通して各グループで参加するイベントなどの目標を決め、出演・出展内容や、出場する競技種目、などを利用者が自ら決められるよう支援を行った。

外出先を決める話し合いでは予算、行き方、内容の提示を行いながら、それぞれの好みなどで意見を出し合い行き先を決定した。

##### <職員のために>

###### ◆研修の実施

パート職員も含めてスキルアップをはかるために研修を実施。下記の通り実施した。

実施月	内容
5月22日	ダウン症の退行について
6月26日	リフレーミングの視点を学ぶ
9月25日	利用者にはいかに喜んでもらうか?を考える
10月23日	工賃を上げるために①
11月27日	工賃を上げるために②
1月22日	虐待防止（不適切対応のセルフチェック）
2月26日	次年度に向けて（事業計画作成、事業方針の確認）
3月25日	次年度に向けて（事業計画の確認）

##### <地域のために>

地域の行事（大城納涼祭り・かまぶた区運動会等）地元小学校との交流（運動会・学習発表会・4年生の福祉の授業）を行った。

地元中学校の職場体験受け入れ 3校から6人。

# 相談支援センターはまゆう 令和元年度 事業報告書

## 1. 取り組み

- ・ サービス等利用計画作成、モニタリングのための、アセスメント（ご自宅訪問）・担当者会議の開催・事業所訪問。令和1年8月より、児童の計画相談支援を開始する。
- ・ 以前は特定の担当者が定着しないという課題があったが、現在専任相談員は定着している。今後、相談件数が増えていくと相談員の増員も必要である。相談員1人の担当件数を80件程度にし、丁寧な支援をしていく。

(平成30年4月～8月) 専任相談員不在、兼務相談員1名体制)  
 (平成30年8月～平成31年2月) 専任相談員1名、兼務相談員1名体制)  
 (平成31年3月) 専任相談員不在、兼務相談員1名体制)  
 (平成31年4月～現在) 専任相談員1名 )

## 2. 筑紫地区地域自立支援協議会へ参加

【事務局会議】 那珂川市にて（1回/毎月）      【権利擁護部会 事務局担当】（1回/2ヶ月）  
 【相談支援部会】（1回/2ヶ月）      【地域連携パス部会】（1回/2ヶ月）

## 3. 請求実績

登録者数      令和1年度 105名      (成人：94名      児童：10名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規	成人	12	7	5	7	10	4	2
	児童						0	0
更新 (モニタリング)	成人	10	4	13	5	8	14	9
	児童	0	0	0	0	0	0	1
終了	成人	1	0	0	0	0	0	0
	児童	0	0	0	0	0	0	0
登録件数	成人	83	84	84	85	86	87	88
	児童						0	2

		11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	成人	7	7	8	3	5	86
	児童	1	0	0	0	6	7
更新	成人	5	12	17	4	14	115
	児童	0	0	0	0	0	1
終了	成人	0	0	0	0	0	1
	児童	0	0	0	0	0	0
登録件数	成人	89	90	90	92	94	94
	児童	3	3	4	4	10	10

# パルテールはまゆう 令和元年度 事業報告書

## ■ 共同生活援助

### 1,実施サービス

令和元年度利用実績(3月末実績)	
入居者数(総数)	5名(男 4・女 1)
新規入居者数	0名
退所者	2名

### 2,年間スケジュール

4月	5月	6月
・ 歓迎会	・ 買い物&衣替え ・ 自分の健康状態について知りましよう<研修> ・ 整理整頓について知ろう<研修>	
7月	8月	9月
・ 大城納涼祭り参加 <片付け、打ち上げ>	・ 大掃除 ・ 野球観戦に行こう	
10月	11月	12月
・ 相手の気持ちを考えよう <研修>	・ 衣替え ・ ケーキ屋さんに行ってみよう	・ クリスマス会 ・ 大掃除
1月	2月	3月
・ マナーを守ろう<研修> ・ 虐待<研修>	・ 宗像 GH 合同旅行 (大分)	

### 3,理念実現プラン

#### <利用者のために>

- ・ 入居者の課題をふまえて、イベント（自分の健康状態について知る、整理整頓について知る）を行い、定期的に確認した。
- ・ 昨年入居者に好評だったイベント（ケーキ屋さんに行ってみよう、クリスマス会）を継続して行った。今回は、行ってみたいケーキ屋さんなど事前に各入居者が調べるなど意欲的に取り組むことが出来ていた。またクリスマス会では、会場の飾りつけから入居者と行った。
- ・ 今回初めて宗像 GH と合同で旅行を開催した。また昨年度課題になった公共機関でのマナー、浴室でのマナーについて事前に研修を行い、当日学習したことを実践することが出来ていた。
- ・ 例年、大掃除の当日は職員のみで掃除をしていたが、今年は各入居者も一緒に行き、“自分たちの住まい”を意識づけることが出来た。

#### <職員のために>

- ・ イベントを実施する際に、事前に職員間で内容を確認し、実施後振り返りを行った。
- ・ 宗像のグループホームの職員とも交流し、お互いに相談する関係を築くことが出来た。
- ・ 長期休暇を取得し、旅行などでリフレッシュ出来た。

<地域のために>

- ・公民館のお祭りや廃品回収に参加するなど、地区の行事に参加する機会を増やした。
- ・地域のお祭りでは、入居者で祭りに参加また打ち上げにも参加し、パルテールの存在を周知していただく機会となった。
- ・近隣住民宅の草取り、剪定などを通して良好な関係を築くことが出来ている。

■短期入所

平成 30 年度利用実績(3 月末実績)		令和元年度利用実績(3 月末実績)	
契約者数(総数)	35 名(男 19・女 16)	契約者数(総数)	49 名(男 30・女 19)
新規契約者数	7 名 (男 6・女 1)	新規契約者数	12 名(男 7・女 5)
平均利用者数(月)	4.6 名/月	平均利用者数(月)	8.1 名/月
平均利用泊数(月)	15 泊/月	平均利用泊数(月)	22 泊/月

《利用者数内訳》

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
5		5		8		9		12		10	
はまゆう	外部										
5	0	5	0	5	3	7	2	9	3	6	4
10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
7		9		11		7		7		8	
はまゆう	外部										
5	2	7	2	7	4	6	1	6	1	7	1

《利用泊数》

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
15	14	18	22	23	21
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
22	28	29	30	28	17

- ・相談支援事業所を通して契約される方、契約している利用者からの紹介により、新規 12 名（高校生 4 名）を獲得することが出来た。
- ・入居を希望する問い合わせが多数あり、実際に短期入所サービスを数カ月利用後、体験入所サービスを利用して本入居を希望されている。
- ・昨年度に比べて平均利用者数、平均利用泊数は伸びている。高校生の利用が増え、介護面（入浴、食事、排せつなど）でのサポートが必要だった。
- ・職員体制として、世話人が不足している現状がある。そのため、パート・アルバイトの募集を引き続き行っていく。

# 障がい児者地域生活支援センターはまゆう 令和元年度事業報告書

## 1 支援センターはまゆうの取り組み

学校や病院で担当者会議を開催し、学校関係者、医療従事者と情報共有を図り、連携を深める。基幹と連携し地域移行支援の相談にも対応する。地域の課題把握に努めるため、自立支援協議会開催の会議へ出席する。発達障害児者の地域における支援を強化するため、相談窓口の周知を図り、行政や機関と連携し、本人・ご家族の相談へ対応し、家族の交流や情報交換の場を提供する。

### (1) 会議の実施、会議への出席

- ・自宅へ訪問し、話を伺うことで、生活環境や本人・家族の状況の把握に努めている。
- ・必要に応じて学校等教育機関や病院で会議を開催することで、学校関係者や医療従事者と情報を共有し、連携を図っている。
- ・就労等関係機関(企業含む)と情報共有し、連携を図っている。
- ・自立支援協議会開催の会議へ出席し、情報交換し、地域課題の把握に努めている。

### (2) 地域移行支援

- ・基幹より紹介のあった地域移行支援の計画作成の依頼を受け、病院を訪問。次年度、基幹と連携し、地域移行支援の計画を作成し、地域で生活を行えるように必要な支援を行う予定。

### (3) 地域における発達障がい者支援の強化

- ・市や基幹、保健所より紹介のあった相談につながっていない発達障がい者の相談へ積極的に対応し、情報提供や計画書の作成を行っている。
- ・発達障害者対象の無料相談を継続。スキルアップのために公認心理師を取得。次年度より児童の相談も実施。毎月第3土曜の13時～16時に開催している発達障害者の家族対象のサロンも継続。

### (4) 研修参加

《職員：大城》

日時	場所	研修内容
6月12日(水)	宗像総合庁舎	ちょっと気になる子供の様子を保護者の方へどう伝えるか
9月12～13日	クローバープラザ	強度行動障がい支援者養成研修【基礎研修・実践研修】
10月31日(木)	宗像総合庁舎	病院から地域へ～退院支援と地域との連携を考える
12月9日(月)	あいあいセンター	発達障がいとゲーム・ネット依存との関連
12月11日(水)	宗像総合庁舎	アルコール依存症について～疾患の理解・入院プログラム～
1月31日(金)	宗像総合庁舎	CRAFT のスヌメ～依存症者を治療につなげるプログラム～

《職員：梅田》

日時	場所	研修内容
11月29日(金)	宗像総合庁舎	小児慢性特定疾病をもつ子どもの親のつどい
1月25日(土)	東区和白コミセン	愛着形成と発達障害

《職員：赤松》

日時	場所	研修内容
12月9日(月)	あいあいセンター	発達障がいとゲーム・ネット依存との関連
12月11日(水)	宗像総合庁舎	アルコール依存症について～疾患の理解・入院プログラム～

## 2 関連機関とのネットワーク構築

＜宗像市障害者自立支援協議会＞

事業所と相談支援事業所との顔の見える関係作りや地域課題を情報共有し、共通認識を持つことを目的とし、ネットワーク会議と放課後等デイサービス連携会議へ参加。今年度は下記会議へ出席。

### 【平成31年度ネットワーク会議】

4月16日(火) 平成31年度第1回ネットワーク会議

内容：平成30年度報酬改定の再確認、自立生活援助事業について

10月3日(木) 平成31年度第2回ネットワーク会議

内容：災害対策の現状、緊急連絡体制、対応について(講義)

### 【平成31年度放課後デイ連携会議】

4月17日(水) 平成31年度第1回放課後等デイサービス連携会議

内容：虐待防止について(グループワーク)

6月20日(水) 平成31年度第2回放課後等デイサービス連携会議

内容：今後の活動方針、活動内容について

9月6日(金) 平成31年度第3回放課後等デイサービス連携会議

内容：利用者負担無償化について

2月17日(月) 平成31年度第5回放課後等デイサービス連携会議

内容：来年度活動内容検討、課題や提案(グループワーク)

### 【平成31年度合同部会】

11月28日(木) 内容：児童から成人サービスへの切り替えに伴う情報共有

### 【平成31年度児発連携会議】

2月17日(月)内容：各事業者自己紹介、現状と課題の情報交換(グループワーク)

## 3 請求報告

年間請求一覧

【児童】

児童		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	新規	2	2	2	0	0	1	0
更新	19	7	3	13	9	11	13	
モ	13	15	14	8	10	14	7	
終了	0	0	0	0	0	0	0	
件数	128	130	132	132	132	133	133	

児童		11月	12月	1月	2月	3月	合計
	新規	1	15	4	1	12	40
	更新	10	13	12	6	8	124
	毛	9	15	13	10	22	150
	終了	0	1	1	3	9	14
	件数	134	148	151	149	152	

【成人】

成人		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	新規	2	3	3	4	3	2	3
	更新	8	4	6	8	7	1	12
	毛	10	13	19	30	31	19	33
	終了	0	0	0	0	1	2	2
	件数	109	112	115	119	121	121	122

  

成人		11月	12月	1月	2月	3月	合計
	新規	4	16	1	2	28	71
	更新	6	2	10	3	7	74
	毛	20	35	28	18	33	289
	終了	1	1	1	2	3	13
	件数	125	140	140	140	165	

児童件数 152件    成人件数 165件

## 障害者就業・生活支援センターはまゆう 令和元年度事業報告書

### 1. 事業概要

#### (1) 目的

宗像保健福祉圏域における障害者の雇用促進を目的として、就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を提供する。

#### (2) 事業内容

- ①就業面及びそれに係る生活面の相談・支援 ②事業主に対する啓発・助言  
③職場実習の斡旋 ④連携会議の開催や関係機関との連携

### 2. 支援対象者 (人)

障害種別	身体		知的		精神		その他		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	46	33	103	45	169	123	21	10	339	211
合計	79		148		292		31		550	

#### (年齢) (人)

～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
11	137	161	120	82	39	550

### 3. 新規利用経路 (人)

病院	5
宗像市指定相談支援事業所	8
相談支援専門員	11
その他の相談事業所	6
直接利用	7
行政	12
就労移行支援事業所	2
就労継続支援（A型・B型）事業所	4
ハローワーク	5
企業	2
学校	4
新規登録者合計	66

#### (居住エリア) (人)

宗像市	福津市	古賀市	新宮町	遠賀郡	新規合計
41	21	2	1	1	66

#### 4. 相談支援件数

(手段別)

(件)

センターへの来所	808
電話・FAX・E-mail	2,836
職場訪問	495
家庭訪問	27
その他（ハローワークへの同行、ケース会議への参加等）	561
合計	4,727

(内容別)

(件)

	身体	知的	精神	その他	合計
就職に向けた相談・支援	205	632	1536	137	2510
職場定着に向けた相談・支援	98	243	626	5	972
日常生活・社会生活に関する相談・支援	56	170	309	9	544
就業と生活の両方にわたる相談・支援	76	151	442	32	701
合計	435	1196	2913	183	4727

#### 5. 実習の斡旋状況

(障がい別)

(件)

身体	知的	精神	その他	合計
1	12	12	0	25

(職種別)

(件)

店舗スタッフ	7	倉庫内作業	2	食品製造	3
事務・事務補助	6	洗車	1		
介護	2	ガーデニング	1		
クリーニング	2	食器洗浄	1		

#### 6. 就職の状況

(障がい別)

(件)

身体	知的	精神	合計
1	15	27	43

(職種別)

(件)

一般事務	13	軽作業	1	介護・介護補助	2
食品加工	5	農作業	1		
清掃	5	土木	1		
店舗スタッフ	4	工場内作業	1		
調理補助	4	クリーニング	1		
ピッキング	4	洗車	1		

## 7. セミナーの開催・共催

- ① 福岡県障害者就業・生活支援センター合同セミナー  
日時：令和元年10月18日（金）  
場所：ウェルとばた  
参加者：97名
- ② 就労セミナー  
日時：令和2年2月8日（土）13:30～16:30  
場所：宗像市役所  
参加者：28名

## 8. 研修会・勉強会等の開催・共催

- ① 福岡県障害者就業・生活支援センター合同研修会  
ア. 日時：令和元年8月30日（金）  
場所：大牟田市市民活動等多目的施設えるる  
参加者：42名  
イ. 日時：令和元年12月13日（金）14:00～16:00  
場所：飯塚市立岩交流センター  
参加者：25名
- ② 宗像市・福津市就労部会勉強会  
ア. 日時：令和元年11月15日（金）17:30～19:00  
場所：はまゆうワークセンター宗像  
参加者：25名  
イ. 日時：令和元年12月12日（木）17:30～19:00  
場所：緑の里  
参加者：25名

## 9. 会議の開催

- ① 宗像市自立支援協議会就労部会（7回）  
令和元年6月24日  
令和元年7月5日 事業所間交流会  
令和元年7月19日 企業見学（ナーシングケア宗像）  
令和元年8月17日 当事者発表  
令和元年9月10日  
令和元年11月15日 勉強会（はまゆうワークセンター）  
令和元年12月3日  
令和2年3月17日（コロナウィルス対策のため、開催自粛）
- ② 福津市就労部会（4回）  
令和元年6月14日  
令和元年7月19日 企業見学（ナーシングケア宗像）  
令和元年9月21日 当事者発表  
令和元年12月12日 勉強会（緑の里）  
令和2年3月10日（コロナウィルス対策のため、開催自粛）

## 10. 余暇支援等、当事者活動の状況

- ①花見・カラオケ交流会（平成31年4月6日）／26名参加
- ②海水浴・バーベキュー大会（令和元年8月3日）／23名参加
- ③宗像市在職者交流会（令和元年8月17日）／23名参加
- ④福津市在職者交流会（令和元年9月21日）／15名参加
- ⑤クリスマス食事会（令和元年12月21日）／36名参加

\*また、定例会（当事者サロン・家族サロン）として

毎月第3土曜日の13～16時、事務所とロビーを開放している。

当事者の方は5～10名程度の方が参加され、途中退出はない状況であった。また、保護者の方は事前予約で3～7名の方が毎回参加している。

## 11. 総括

精神障がいや発達障がいの方が多地域であるため、専門性の高い支援が求められる。当センターだけでなく、地域の支援者一人一人のスキルアップが求められる現状である。定例化した各地域での勉強会もニーズが強まり、多くの支援者に参加していただくことができた。また、前年度より精神障害者・発達障害者の方に対し、SSTによる職場定着支援の試みを実施している。それぞれの登録者の方にとって、有意義な取り組みとなっている。この技術についても地域支援者に伝え、地域内の支援者のスキルの向上を図り、今まで以上に連携が図れるよう地域を盛り上げていきたい。

# 宗像市障害児通所支援事業所 げんきっこくらぶ ほっぷ

## 令和元年度 事業報告書

### 1, 令和元年度利用者数(令和2年3月31日現在)

(1) 登録者数 27名 (重症心身障害児以外 22名/重症心身障害児 5名/児童発達重心 0名)

【学年内訳:未就学 0名/小学部 14名/中学部 8名/高等部 5名】

【学校内訳:古賀特別支援学校 21名/福岡特別支援学校 5名/宗像高等学校 1名】

【新規登録者数 8名/退所者数 4名/卒業者数 1名】

### (2) 月別利用人数/合計総数・利用平均数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
重 心 以 外	平日(178日)	118	161	168	111	7	141	168	157	137	132	144	1	1,445	8.17
	土曜日(50日)	27	20	28	20	32	30	29	32	32	30	33	24	337	
	長期等(60日)	87	22	0	78	151	0	1	1	34	18	0	179	571	
	全日(288日)	232	203	196	209	190	171	198	190	203	180	177	204	2,353	
重 心	平日(1788日)	18	26	34	19	0	27	23	27	22	20	18	0	234	1.48
	土曜日(50日)	10	4	7	5	8	9	7	6	8	10	10	8	92	
	長期等(60日)	9	5	0	12	36	0	2	1	4	4	1	27	101	
	全日(288日)	37	35	41	36	44	36	32	34	34	34	29	35	427	
計	全日(288日)	269	238	237	221	226	207	230	224	237	214	206	239	2,780	9.65

### 2, 年間スケジュール

4月	5月	6月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お花見(宗像ユリックス)</li> <li>・地域活動(ゴミ拾い)</li> <li>・地域散策(みずがめの郷、鎮国寺、なまずの郷、正助ふるさと村)</li> <li>・放デイ連携会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域散策(みずがめの郷、さつき松原、ふれあいの森)</li> <li>・工作材料買い物学習(ダイソー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗像高校文化祭</li> <li>・菖蒲祭り(宮地嶽神社)</li> <li>・古賀特別支援学校(小・中)見学</li> <li>・放デイ総括会議</li> </ul>
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール活動</li> <li>・避難訓練</li> <li>・嘱託医訪問</li> <li>・TEACCHプログラム研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール活動・いきいき出前コンサート</li> <li>・宮若スタンプラリー・交通安全教室</li> <li>・宮若石炭記念館・おもちゃ図書館祭り</li> <li>・人形劇(こやぎ座)</li> <li>・放デイ総括会議</li> <li>・遊びレシピ養成講座(サンコスモ古賀)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙すき活動</li> <li>・ブルガリアフェスティバル(グローバルアリーナ)</li> <li>・城山之荘秋祭り(トーンチャイム披露)</li> <li>・自閉症VR体験会(あいあいセンター)</li> </ul>
10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古賀特別支援学校文化祭</li> <li>・ハロウィンイベント(地域交流)</li> <li>・防犯安全スポーツ教室(じゃんぷ合同)</li> <li>・放デイ総括会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗像大社菊花大会見学・紙すき活動</li> <li>・イルミネーション点灯式</li> <li>・すまいるKIDS(放デイ)見学</li> <li>・親子BBQ・放デイ総括会議</li> <li>・宗像市自立支援協議会合同部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会・手作り楽器作り</li> <li>・松ぼっくりツリー工作・紙すき活動</li> <li>・虐待防止研修会(宗像市役所)</li> <li>・福岡特別支援学校見学</li> <li>・どの子も凸凹連続講座(ふくとびあ)</li> </ul>
1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣(摩利支神社・宗像大社)</li> <li>・書初め活動・紙すき活動</li> <li>・避難訓練</li> <li>・愛着研究研修会</li> <li>・虐待防止研修(法人内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お面づくり活動・節分イベント</li> <li>・バレンタインイベント(地域交流・工作)</li> <li>・紙すき活動・タクティールケア</li> <li>・放デイ連携会議</li> <li>・児童発達支援連携会議</li> <li>・嘱託医訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙すき活動</li> <li>・習字活動</li> <li>・菜の花めぐり</li> <li>・買い物体験</li> <li>・おやつデコレーション</li> <li>・ホワイトデープレゼント(地域)</li> </ul>

※サーキット・レクリエーション活動(随時)、工作活動(月毎に1週間)、音楽療法(月1回)実施。

※制作カレンダーの配布 : 4月～ 高齢者施設(よつづか、城山之荘) (月1回)

: 9月～ 宗像ユリックス、ボランティアセンター (月1回)

: 1月～ のぞみ園 (月1回)

### 3, 理念実現プラン

#### 【利用者のために】

- ・新規児童が8名利用開始となる。毎週、複数回利用する児童が多くいらっしゃるが、保護者の急な用事等の追加利用にはほとんどの希望に沿って受け入れることができていた。
- ・昨年まで2部屋に分けて活動を行っていたが、利用児童の低年齢化により、1部屋活動に変更。玩具で遊んだり、工作活動をするフロアと身体を動かすプレイフロアに分け、ニーズや用途に分かれて使用した。
- ・毎月工作活動でカレンダーを制作。制作したカレンダーを高齢者施設に配布することにより、繋がりを深めることができ、高齢者施設(城山之荘)からは秋祭りに招待され、ステージイベントでトーンチャイムを披露することができた。
- ・紙すき活動で作成した「紙」を『じゃんぷ』に送り、共同で「しおり」作りを行う。しおりは高齢者施設、さつき祭りで配布する予定だったが新型コロナウイルスの為、配布は次年度へ延期となる。
- ・交通安全教室、避難訓練、安全スポーツ教室等、不測の事態にパニックにならないよう体験してもらい、経験を積み重ねてもらった。

#### 【職員のために】

- ・『じゃんぷ』と合同の職員会議を毎月開催し、情報共有を図ることができた。
- ・古賀特別支援学校、福岡特別支援学校、『すまいるKIDS(放デイ)』の見学を行い、学校や他事業所の取り組みを見学することにより支援テクニック、情報共有等を行い、職員の知識の向上を図ることが出来た。
- ・TEACCHプログラム、遊びレシピ講習講座、自閉症VR体験会、どの子も凸凹連続講座、愛着研究研究会等の研修に職員が参加。情報共有することにより講習に参加していない職員にも研修内容を伝え、職員の質の向上を図る事ができた。
- ・宗像市主催と法人管理者主催の2回の虐待防止研修を行う。研修を通して虐待とは何か?を再確認し、研修内にあったアンガーマネジメント(怒りをコントロール)を意識し、支援だけではなく私生活においても使用できるように自己研鑽の機会を設けた。
- ・親子交流として、『じゃんぷ』と合同でBBQを開催する。7組のご家庭が参加し、日頃使用しない包丁作業や炭の火起こしにも取り組んでもらい、保護者だけでなく、兄弟児同士の交流も見られ、交流を深めることが出来た。

#### 【社会のために】

- ・宗像ユリックス主催の「いきいき出前コンサート」、宗像市ボランティアセンターを通じ「こやぎ座」の人形劇を事業所で催した。近隣の方を誘うも参加された方はいなかったため、「ハロウィン」「バレンタイン」「ホワイトデー」で近隣宅を訪問する企画を行い、交流を図ることができた。(ホワイトデーは新型コロナウイルスに伴う対応の為、今回はプレゼントのみ行った)
- ・高齢者施設との交流を行い、毎月児童の作成したカレンダーと活動写真カレンダーを配布し、交流を深める。また交流の輪を広げるため、宗像ユリックス、宗像ボランティアセンター、のぞみ園にも作成したカレンダーを配布する。
- ・11月より事業所入口にイルミネーションを開始する。利用児童や保護者だけでなく、宗像市立中央中学校のグラウンドから観賞する生徒達や回り道をし、観賞して帰路につく近隣で働く方々等に楽しんで頂くことが出来た。
- ・宗像大社でのイベント、宗像高校の文化祭、グローバルアリーナでのイベント等、地域資源を有効に活用した。

# げんきっこくらぶ じゃんぷ 令和元年度 事業報告書

## 1, 令和元年度利用者数(令和元年3月31日現在)

### (1) 登録者数 22名

【学年内訳： 中等部 6名/高等部 16名】

(中学1年：2名 中学2年：1名 中学3年：3名 高校1年：4名 高校2年：4名 高校3年：8名)

【学校内訳：古賀特別支援学校 21名/福岡高等学園 1名】

### (2) 開所日数/月毎利用人数/平均利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	21	22	19	21	21	20	22	20	20	21	248
月毎利用人数	131	129	124	146	135	129	147	152	172	148	156	141	1710
平均利用人数	6.2	6.5	5.9	6.6	7.1	6.1	7.0	7.6	7.8	7.4	7.4	6.7	6.9

## 2, 年間スケジュール ※利用児童に対し毎月テーマを設定し活動を行う。

4月【春休み】	5月	6月
テーマ：新年度の目標決め	テーマ：交通安全・防犯について	テーマ：衛生管理について
・春休み活動 (就労体験・余暇活動・社会科見学)	・児童部門会議の実施 ・防犯指導の実施(宗像警察署)	・児童部門会議の実施 ・古賀特別支援学校見学
7月【夏休み】	8月【夏休み】	9月
テーマ：就労体験	テーマ：就労体験	テーマ：夏休み実習の振り返り
・夏休み活動 (就労体験・余暇活動・社会科見学) ・公共施設を利用した活動の実施 (アクアドーム、ゆーゆープール)	・夏休み活動 (就労体験・余暇活動・社会科見学) ・ワーク自由ヶ丘交流活動 (ヤフオクドーム試合観戦ツアー)	・児童部門会議の実施 ・宿泊体験① (食進会料理教、国立夜須高原青少年自然の家)
10月	11月	12月【冬休み】
テーマ：ものづくりに挑戦しよう！	テーマ：衛生管理・体調管理について	テーマ：就労体験に向けての準備
・児童部門会議の実施 ・古賀特別支援学校運動会見学	・児童部門会議の実施 ・ほっぷ・じゃんぷ合同 BBQ (保護者参加型イベントの実施) ・水産高等学校見学・交流会 ・福岡特別支援学校見学	・児童部門会議の実施/職員研修 ・冬休み活動 (就労体験・余暇活動・社会科見学) ・ワーク自由ヶ丘合同活動(ポッチャ) ・福岡女子大学合同活動①
1月【冬休み】	2月	3月【春休み】
テーマ：就労体験	テーマ：楽しい思い出をつくろう！	テーマ：就労体験
・冬休み活動 (就労体験・余暇活動・社会科見学) ・児童部門会議の実施 ・福岡女子大学合同活動② ・虐待研修(アンガーマネジメント)	・児童部門会議の実施/職員研修 ・宿泊体験② (大分別府卒業・進級旅行)	・春休み活動 (就労体験・余暇活動) ・消防訓練

### 3. 実施報告

#### 【利用者のために】

##### 《就労体験の実施》

- ・同法人内の就労施設（はまゆうワークセンター宗像、はまゆうワークセンター大野城、はまゆうワークセンター自由ヶ丘）に実習として就労体験を行った。各就労施設の特色を活かした作業等を経験することができ、児童の対応力を伸ばすきっかけとなった。

##### 《地域交流活動の実施》

- ・地域交流活動も積極的に行い、福岡県立水産高校への学校見学・交流活動（餌やり体験等）、また文化庁・福岡女子大学との合同企画で、外部講師を招いた『演劇ワークショップ』活動を行った。一般の同世代の人達と接し、お互いが様々な事を知る機会となった。

##### 《宿泊体験の実施》

- ・9月（国立夜須高原青少年自然の家）と2月（別府大分卒業・進級旅行）の2回宿泊体験を行い、身辺自立の向上や児童間の関係構築に繋げることが出来た。

##### 《児童部門間での共同活動の実施》

- ・児童部門（げんきっこくらぶ ほっぷ・げんきっこくらぶ じゃんぷ）での共同活動として「紙すき（ほっぷ担当）」→「しおり作り（じゃんぷ担当）」を行い、各事業所での児童間の交流や、「ものづくり」に対する興味・関心を持つことに繋がった。

#### 【職員のために】

##### 《アイデアの具現化》

- ・職員の様々な活動のアイデアを具現化し、職員も児童と一緒に楽しみながら活動を行うことができた。またアイデアを具現化することで職員のモチベーションアップにも繋がった。（宿泊体験など。）

##### 《法人内の他事業所との連携強化》

- ・法人内の各事業所との繋がりを持つことで職員間の交流や助言を受ける機会を作ることができた。

##### 《研修》

- ・法人内研修にて、パート職員も参加をお願いし、虐待研修（アンガーマネジメント）を行い、各職員の自己研鑽に繋げることができた。

#### 【社会のために】

##### 《ノーマライゼーションの実現に繋げる活動》

一般高校や、大学との交流活動を通して、健常者と障がい者がお互いをより知ることが出来るきっかけとなり、障がいがある無しに関わらず、互いが尊重し合える社会の実現に繋げることが出来た。

##### 《ボランティア活動》

- ・ボランティア活動へより興味・関心を持ってもらう為、月に1回程度で利用児童・保護者に呼びかけ海岸清掃を行った（希望性）。

##### 《保護者等のニーズをくみ取った新たな福祉サービスの構築》

- ・じゃんぷの利用児童の保護者のニーズを含めた福祉型学校『さつき学院 宗像キャンパス』が令和2年4月、新たに設立され、じゃんぷの卒業生5名が入学し、地域の障がいを持つ児童の高校卒業後の選択肢を増やすことに繋げることができた。

# ライフアップはまゆう 令和元年度 事業報告書

## 1,実施サービス

令和元年度利用実績(3月末実績)	
ホーム1：サニーヒル	7名/7名
ホーム2：シーサイドヒル	5名/7名
ホーム3：フローラ	5名/7名 (うちサテライト型住居：1名)
入居者数(総数)	17名(男 11・女 6)/21名
新規入居者数	1名
退所者	1名

### 《区分割合》

障害程度区分	サニーヒル	シーサイドヒル	フローラ
1以下	0名	1名	0名
2	2名	0名	1名
3	0名	0名	3名
4	3名	4名	1名
5	2名	0名	0名
6	0名	0名	0名

## 2,年間スケジュール

4月	5月	6月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・歓迎イベント(ピクニック)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事会、温泉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループイベント①(ボーリング)</li> <li>・大掃除(フローラ)</li> </ul>
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループイベント②(映画)</li> <li>・池野コミセン夏祭り</li> <li>・手持ち花火大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事会、温泉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループイベント③(野球観戦)</li> </ul>
10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ</li> <li>・避難訓練</li> <li>・他事業所見学(10月,11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除(シーサイドヒルはまゆう)</li> <li>・小グループイベント④(カラオケ)</li> <li>・小グループイベント⑤(たこ焼き)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会</li> <li>・食事会</li> </ul>
1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH 合同旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除(サニーヒルはまゆう)</li> <li>・避難訓練</li> <li>・忘年会</li> </ul>

### 3,理念実現プラン

#### <利用者のために>

- ・新規入居者がグループホームでの生活に順応できるよう、保護者や関係機関と連携を図り、支援を行った。また、入居者の相性や心身の状態を考慮して、ホーム間での入居者の居室の移動を行った。
- ・生活能力は高いものの、精神的に不安定で他入居者との共同生活にストレスを感じていた入居者を支援するため、近くのアパートの一室を借り、サテライト型住居を新設した。
- ・一般就労されている入居者の就労先を訪問し、担当者との顔合わせや連絡体制の見直し等を行った。また、一般就労先や通所事業所と必要に応じて連絡を取り、情報共有を図った。
- ・4月に保護者会を開催し、事業報告や個人面談をおこなった。また、各入居者に聞き取りを行い、それぞれの課題やニーズを確認した上で、個別支援計画書の作成を行った。
- ・楽しみの提供や利用者同士の交流のため、3ホーム合同で余暇活動を実施した。また、合同での余暇活動とは別に、小グループでの活動も実施した。入居者の相性や行動特性を考慮したグループ分けをすることで、活動の幅が広がり、よりニーズに沿った余暇を提供することが出来た。
- ・帰省のない入居者が多いため、お盆や年末年始などの長期休みには、温泉に行ったり、外食やホームでの食事会を行った。
- ・大野城のGHも含めた法人内全ホームのイベントとして、観光バスを貸し切り、大分・別府へ一泊旅行を行った。
- ・手持ち花火大会や夏祭り、クリスマス会など季節に合ったイベントを行った。
- ・避難訓練を実施し、火災が起こった時に迅速に動けるよう、避難経路の確認をした。
- ・各ホームごとに大掃除を実施し、入居者の居室を重点的に掃除する等住環境の再考を行った。また、フローラが老朽化による建て替え等を検討中の為、業者の選定や打ち合わせ等を行った。
- ・GH専用携帯電話を導入し、緊急時の連絡体制の確保に努めた。

#### <職員のために>

- ・10月11月に他法人のグループホームを見学する機会を作った。
- ・月に1度、職員会議を実施し、利用者のケース検討や行事の起案等について話し合った。また、職員会議の議事録を全職員に回覧し、情報の共有を強化した。
- ・管理者と週一回定期的に打ち合わせを行い、相談体系の強化を図った。
- ・職員で避難訓練を実施し、火災通報の流れや避難経路の確認を行った。また、災害で起こりうるリスクについても話し合い、職員の意識向上を図った。
- ・iPadやグループウェアの導入に伴い、フローラから毎日、入居者の状態等についての申し送りを受ける仕組みを作り、情報共有や早期対応に努めた。
- ・大野城のGHと合同で会議を開催したり、事業所間の交流を図ることで、GHが抱える課題や情報の共有を行った。

#### <地域のために>

- ・地域の集会や、同じ地域の他法人のイベント（BBQ等）に参加し、交流を図った。
- ・入居者と共に、地域のイベント『池野コミセン夏祭り』や『赤間宿祭り』に参加した。
- ・宗像市障害者生活支援センター等他機関が実施している行事の情報を提供し、参加する際は、連絡調整を行なった。